

葦 森 の 風

「あしもり学園フェスティバル」第52回足守中学校体育会が開催されました。

5月25日(日)、快晴のもとで、第52回体育会が開催されました。「あしもり学園」としては、記念すべき第1回の体育会になります。練習期間が短くて、準備が大変でしたが、教職員も生徒もそして、PTAの方々も、盛り上がりを目指して、力を注いでくださいました。

お陰様で、例年に負けない、それ以上の成果がみられた体育会だったと思います。PTA種目には、蛍明小学校の先生方も、足守中教職員と一緒に参加して下さった場面もあり、フォークダンスでは、保護者、地域のご来賓、多くの卒業生なども、飛び入りで参加して下さり、大いに盛り上がったと思います。最後のチームの反省会では、チームリーダーからの熱い思いや涙もあり、忘れられない体育会となりました。3年生の生徒全員が、素晴らしいリーダー性を発揮してくれたことが、何よりも、印象的で頼もしく感じた最高の場面でした。



「第1回 26年度 足守中学校地域協働学校 運営協議会」が開催されました。

5月22日(木) 19:00 本年度第1回の地域協働学校運営協議会が、開催されました。地域協働学校運営協議会とは、コミュニティースクールとも呼ばれるもので、従来とは異なり、広く地域に学校を開いていく目的から、学校経営の基本的な方向性や基盤になる組織などについて、校長は、その承認を受けなくてはいけないという、法的に位置づけられた組織です。

26年度は、「足守地区の幼小中一貫教育の推進」「一体校舎での連携教育の具現化」6年目に入る「協同学習(学びの共同体)の発展」などを基本方針として掲げ、承認していただきました。協議の過程では、委員さんから質問やご意見もたくさんいただき、委員さんそれぞれの立場から検証していただきました。

会長	後藤 晴美
副会長	御船宗一郎
委員	平田 昌孝
委員	光森 哲也
委員	元成 勝巳
委員	水田 真吾
委員	津川 倫郎
委員	河内真理子

運営協議会会長 後藤晴美氏のご挨拶・提言

「二つの話」

足守中学校運営協議会委員 後藤 晴美



あしもり学園が完成し、施設設備等をはじめ充実した教育環境の中で、学校生活、教育活動がスタートしました。

今までは異なる場面や内容に直面することもあると思います。そうした課題を乗り越え解決していくことが、成果と喜びに繋がるものだと思います。

学校、家庭、地域が連携し、子供たちが楽しく充実した学校生活を送れるような教育環境づくりに頑張りたいと思います。

今年度も、学校運営協議会の委員として、微力ながらつとめさせていただきます。よろしくお願ひします。

さて、誰が言った言葉か、また出典等も記憶が定かではありませんが、印象に残っている言葉を紹介し、少しでも参考になればと思います。

一話 「家庭に植える良い木、悪い木」

家庭では絶対植えてはいけない木が、三本あります。一つは嘘つき、二つめは病気、三つめは浮気の三本です。

反対に植えて欲しい木も三本あります。一つは正直、二つめは本気、やる気、三つめは元気です。

二話 「三感四恩」の人になれ

気象用語に「三寒四温」というのがあります。ただ字がちがいます。サンカンのカンは感です。シオンのオンは恩です。

三寒の三つのカンは、人生には感激、感謝、寛容の気持ちが必要だということです。四恩は、親の恩、師の恩、友の恩、社会の恩です。このことを心にとめておける人は、心が温かい人でしょう。

昼休みの運動場



5月のある日の昼休みの光景です。中学生と小学生が自然に、サッカーゴールの前に集まり、いっしょにボールを追いかけ、けり合っている姿を見かけました。中学生が小学生にフリーキックをさせてあげて、キーパーになって、それを受け止めている姿や、中学生一人を小学生数人が囲んで、ボールを奪い合う光景も見られました。午後の授業が始まる前には、教室に引き上げてくる途中で、小学生が中学生の背中に飛び乗って、背負ってもらって喜んでる姿。中学生も自分たちの力強くなった様子を、小学生に誇示するかのよう、笑顔でじゃれ合うようです。

これから、たくさんの課題もあると思いますが、「あしもり学園」ならではの、思わず笑みがこぼれる場面をみかけました。